なぜ神は人 を 造したのか（4/4）： 造の目的に背くこと

：

明:
人 が 造された目的とは、神を崇 することです。第4部：自らが 造された目的に背くということは、人 が犯し得る最も重大な罪です。

目: 事イスラ ムの信条人生の目的

より: Dr. ビラ ル フィリップス

日12 Jan 2015

集日 11 Jan 2015

最も重大な罪

自らが 造された目的に背くということは、人 が犯すことの出来る最も重い罪です。教友アブドッラ は、神の使徒に して、神の御前においてどの罪が一番重大なのか ね、彼がこう答えたことを 告しています。

“??????????????????????????????????”????????????????

神以外の他者を崇 することはアラビア でシルクといい、それは赦されることのない唯一の罪であるとされます。もしある人が罪から悔悟することなく死んだとしても、神はその人物の罪を全て赦されるかも知れませんが、それはシルクを除いてです。これに して神はこう述べます。

“??”??????4?116?

神以外の何者かを崇 するということには、 造主の特 を被造物に付属させることが根本的に伴います。それぞれの宗派や宗教は、独自の方法でそれを行います。 史を通して

、少数派でありながらも非常に 言力のある集 が神の存在を否定してきました。彼らは造主の存在の否定を正当化するため、この世界には始まりがないという非 理的な主 をしてきました。彼らの主 が非 理的であるのは、この世界の　可能な部分においては始まりがあるため、全体においてもそれが当てはまると推 するのがごく理にかなったことであるためです。また、この世界の始まりの原因となったものがこの世界の一部ではなく、それ自体がこの世界と同じように始まったのではないということも至　理的なことです。この世界には始まりがなかったという 神 者による主 は、宇宙を 成する物 が永久であることを意味します。ここでは、神には始まりがないという特 が神の被造物に与えられていることから、それはシルクの主 となります。 史的に ると、その主 にも わらず真の 神 者は常に少数派でした。なぜなら彼らは本能的には神の存在を知っていたからです。数十年にも渡る共 主 の教化にも わらず、大多数のロシア人と中国人たちは神を信じ けてきました。全能なる 造主は、この 象を指摘してこう述べます。

“??????????????????????????????????????”??????27?14?

神 者 唯物主 者たちにとって、人生には欲望を たすこと以外には何の意味もないのです。彼らの欲望はそれ自体が神となり、唯一なる真 の神を差し置いて、彼らはそれに い、服 します。クルア ンにおいて神はこう述べます。

“??????????????????????????????????????”??????25?43?45?23?

キリスト教徒たちは、まず 言者イエス キリストを神の同位者とすることによって彼に造主の特 を付属させ、そして彼に「神の子」という称号を与えることによって神の人格であるとしました。一方でヒンズ 教徒たちは、アヴァタ ラと呼ばれる化身により、神が 代を通して人となり、そして 造神ブラフマ 、 持神ヴィシュヌ、破 神シヴァの3神によって神の特 を分割させました。

神への

またシルクは、人が神への 情以上に被造物を したり、信 したり、怖れたりする 合にも生します。最　示において神はこう述べます。

“??”???????2?165?

これらに 似した感情が被造物により く向けられると、人は他人を喜ばせようとする努力のあまり、神に背きます。しかし、神のみがあらゆる被造物よりも され、怖れられるべきであり、人 による完全な感情的な献身に するのです。アナス ブン マ リクは 言者（彼に平安あれ）が次のように ったと えています。

“????????3???”??????????

人が他人やその他の被造物を する理由の全ては、神の被造物よりも神ご自身を すべき理由に当てはまるのです。人は生命と成功を し、死と失 を嫌 します。神こそが生命と成功の究 的源泉であり、神こそが人 による完全なる 情と献身に するのです。人はまた、自身にとって有益な者や、必要なときに助けてくれる者を します。あらゆる利益（7：188）や助け（3：126）は神から来るものであるため、神こそが何にも して されるべきなのです。

“??”??????16?18?

しかしながら、人が神に して感じるべき究 の 情は、被造物に しての感情的な のようなものに低められてはなりません。人が 物に しての 情を他人に持ってはいけないのと同じように、神への は人 がお互いに感じるような を超越したものでなければならないのです。根本的に言えば、人による神への 情とは、神の法への完全なる服 としてあらわれるような でなければなりません。

“??”??????3?31?

これは抽象的な概念ではありません。なぜなら人による他人への も同 に　さが求められるからです。つまり、もしも人が する者から何かを求められた 合、人はその人物への情の度合いに基づいてそれを果たそうと努力するからです。

神への 情は同 に、神によって される人々に しても表 されるべきです。神を する人が、神によって される人を憎むこと、または神によって憎まれる人を するということは考えられないことです。 言者（彼に平安あれ）が次のように述べたと教友アブ ウマ マは引用しています。

“??”???????????

正しい信仰を持った人々は、神を する全ての人々を するでしょう。マリヤム章において、神は な信仰者たちの心のなかに 情を植えつけることを示しています。

“???”??????19?96?

また、アブ フライラは神の使徒（彼に平安あれ）が次のように ったと えています。

“??”???????????

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/343

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。